



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

●ねじを締める際は、指定のトルク範囲で行ってください。

指定のトルクの範囲外で締付けると部品の破損や脱落の原因となります。

■はじめに

・本説明書は、ノーバス用の引戸クローザ(定速ゼンマイ式)から代替品の引戸クローザ(バネ式)に交換する方法を記載しています。交換前後で障子本体を引張る方法や制動方法が異なり、開閉時の重さや閉まる時の速さなどに違いがありますがご了承ください。

・本説明書に記載の図は、特別な記載が無い限り、右吊元(R)の場合の図になります。左吊元(L)の場合は本図と左右逆に なります。



■使用部品一覧

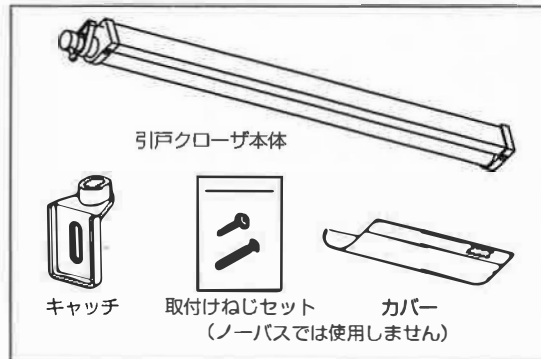
取付金具セット梱包明細

取付金具(2個)	取付金具 スペーサー(2個)	連結金具	平座金(4枚)※

皿小ねじ M4×38 (2本)	ドリルねじ M4×19 (2本)	バインド小ねじ M4×5 (2本)	トラス小ねじ M4×12 (2本)	取付け説明書 (本紙)

※平座金は、Sw725mm 以下の場合のみ使用します。

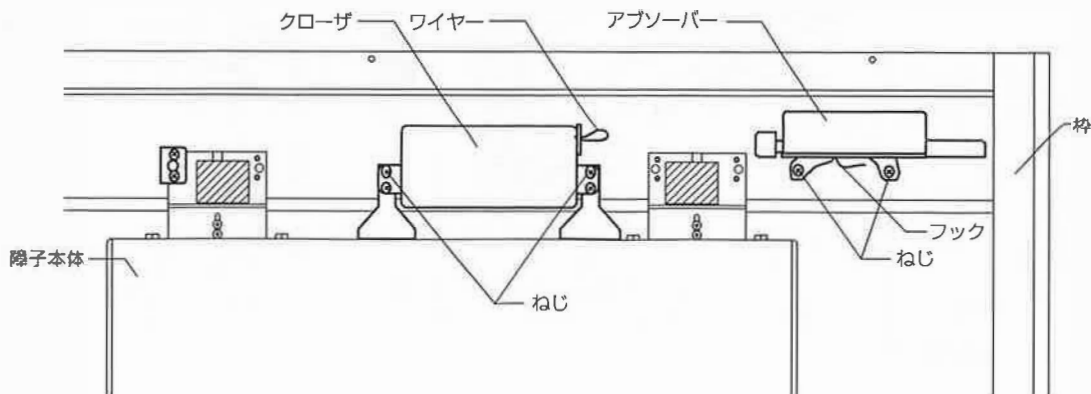
代替引戸クローザセット梱包明細



■作業手順

■既存の部品の取外し

既存部品が付いている場合は、ワイヤーをフックから外し、枠に付いているアブソーバーと障子本体に付いているクローザのねじを緩め取外します。(取外したアブソーバー、クローザ、ねじは使用しません)



## 2 取付け位置の割り出し

Sw寸法から計算公式にて取付金具のねじ止め位置を割り出し、上枠に印をつけます。

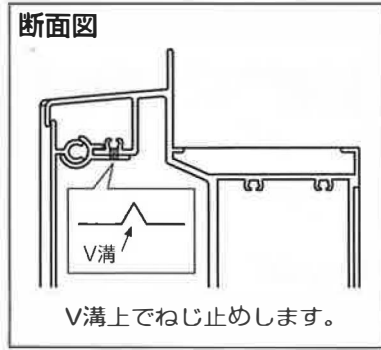
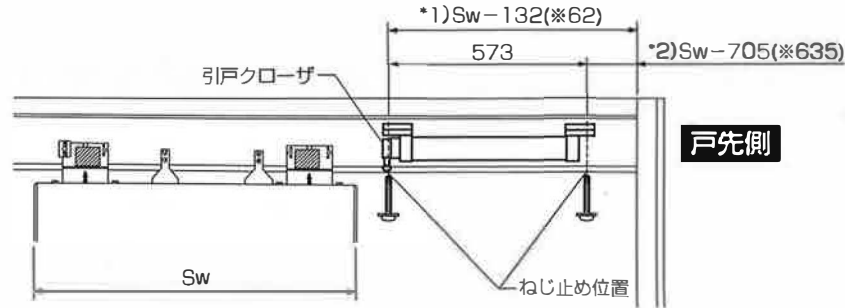
《取付金具ねじ止め位置計算公式》

- \*1): 上枠の戸先側端部からSw-132
- \*2): 上枠の戸先側端部からSw-705

※Sw725以下の場合

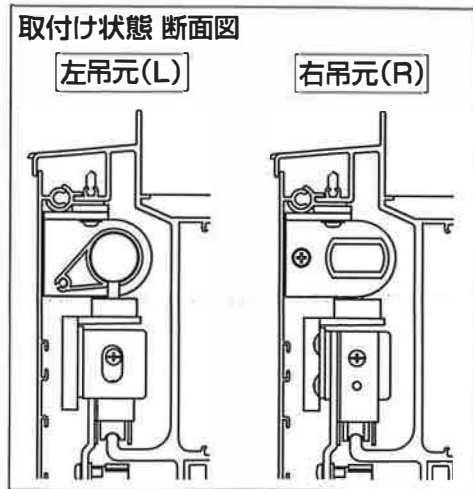
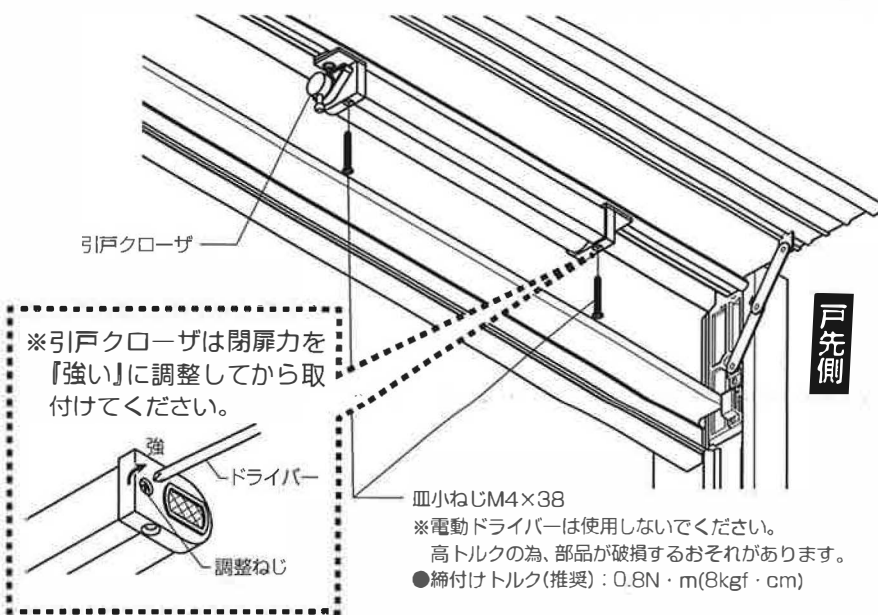
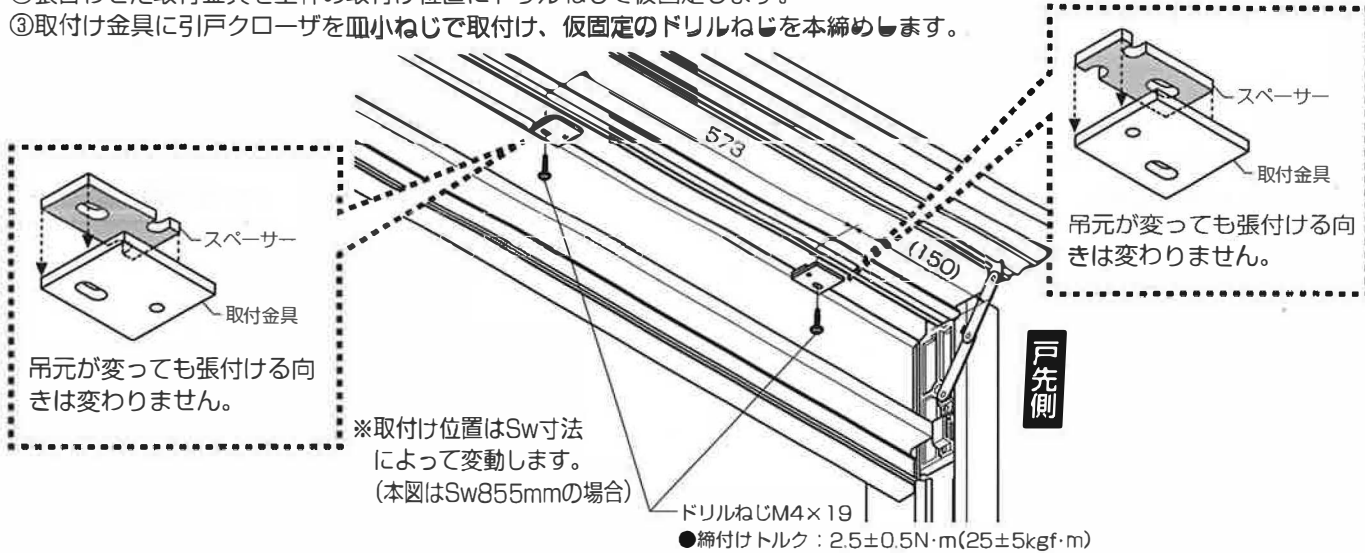
計算公式が次の通り変わります。

- \*1) 上枠の戸先側端部からSw-62
- \*2) 上枠の戸先側端部からSw-635



## 3 引戸クローザの固定

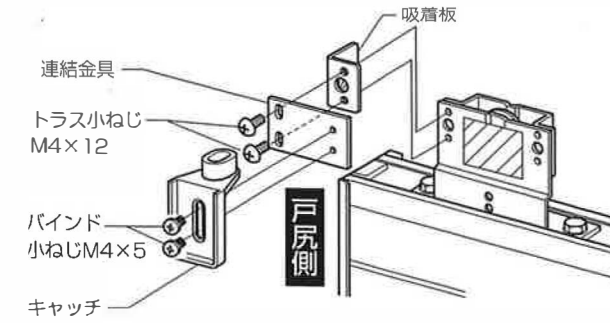
- 取付金具とスペーサーを両面テープやボンドを利用し、張合わせてください。
- 張合わせた取付金具を上枠の取付け位置にドリルねじで仮固定します。
- 取付け金具に引戸クローザを皿小ねじで取付け、仮固定のドリルねじを本締めします。



## 4 連結金具の取付け

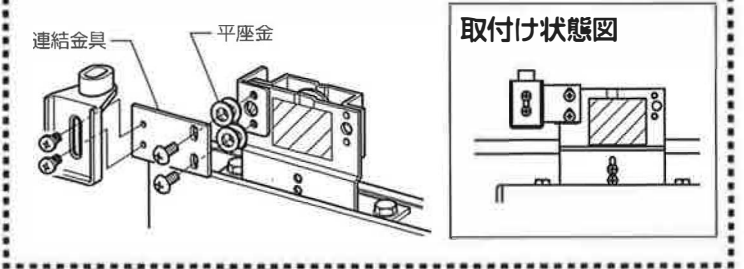
キャッチを連結金具にバインド小ねじで固定します。次に吸着板を固定しているねじを外し、吸着板の上から連結金具をトラス小ねじで仮固定します。(吸着板を固定していたねじは使用しません)

●締付けトルク: 2.5 ± 0.5N・m (25 ± 5kgf・m)



※Sw725以下の場合

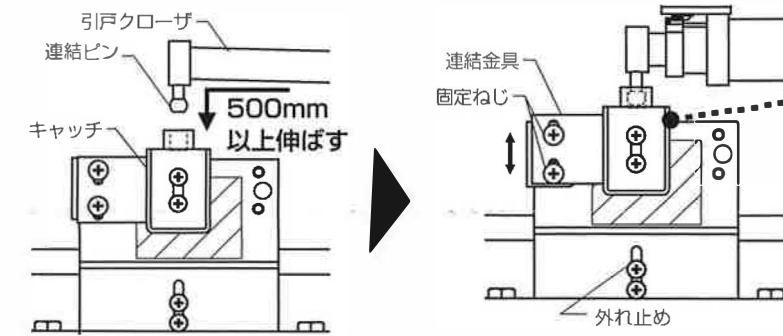
連結金具と吸着板の間に図のように平座金を2枚ずつ、計4枚入れ、連結金具の向きを逆に取付けてください。



## 5 引戸クローザとキャッチの連結と調整

- 障子本体を開け、引戸クローザを500mm以上伸ばし、連結ピンとキャッチを連結させます。
- 連結金具の固定ねじを緩め、障子本体を閉めた状態で上下に調整した後、固定ねじを締付けます。

●締付けトルク: 2.5 ± 0.5N・m (25 ± 5kgf・m)



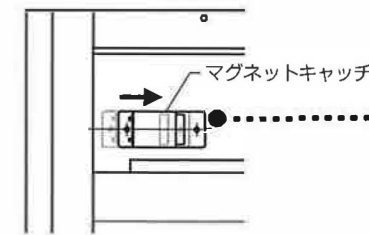
※連結ピンがキャッチに押され持ち上がらないように連結金具を調整してください。  
※連結金具の調整は、部品取付け後だけでなく、建付け調整後にも行ってください。調整しないと部品の破損や連結が外れるおそれがあります。

## 6 マグネットキャッチ取付け位置の変更(Sw991mm以上の場合のみ)

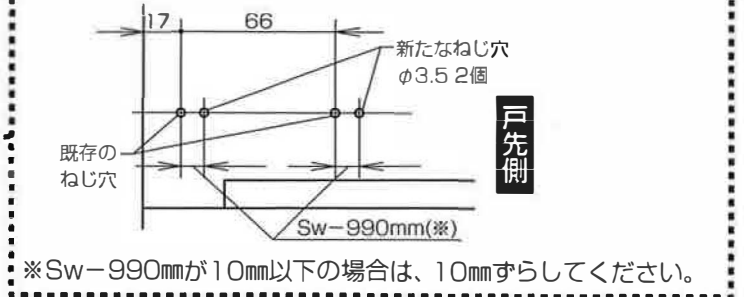
※次の作業は Sw990mm以下の場合には、実施する必要がありません。

- マグネットキャッチを一旦枠から外し、既存のねじ穴より戸先側に Sw-990mmずらした位置に新たにねじ穴(φ3.5)を開けます。ただし、Sw-990mmが10mm以下の場合には、10mmずらした位置に穴を開けてください。
- 新たなねじ穴にマグネットキャッチをねじ止めします。

●締付けトルク: 2.5 ± 0.5N・m (25 ± 5kgf・m)



《穴加工位置》



※Sw-990mmが10mm以下の場合には、10mmずらしてください。

## 7 速度調整

障子本体が確実に閉まるようにフィルターを外し、その奥にある調整バルブを回して調整します。外したフィルターは、調整後に元に戻してください。  
※引戸クローザ同梱の説明書や部品に張付けてあるラベルも参照ください。

